

電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈についての一部改正 新旧対照表 (案)

○電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について (20130605 商局第3号) 【別表第八関係】

(傍線部分は改正部分)

改 正 案	現 行
<p>別表第八 電気用品安全法施行令(昭和三十七年政令第三百二十四号) 別表第一第六号から第九号まで及び別表第二第七号から第十一号までに掲げる交流用電気機械器具並びに携帯発電機</p> <p>1 共通の事項 (略)</p> <p>2 電気用品安全法施行令(昭和三十七年政令第三百二十四号) 別表第一第六号から第九号まで及び別表第二第七号から第十一号までに掲げる交流用電気機械器</p> <p>(1) ~ (20) (略)</p> <p>(21) 電気消毒器</p> <p>イ 構造</p> <p>殺菌灯を有するものにあつては、通常の使用状態において、<u>次のいずれかに適合すること。</u></p> <p><u>(イ) 器体内のみに殺菌灯を照射するものにあつては、光線が直接外部に漏れない構造であること。</u></p> <p><u>(ロ) 器体外に直接殺菌灯を照射するものにあつては、次に適合すること。</u></p> <p><u>a JIS C 7550「ランプ及びランプシステムの光生物学的安全性」の表2及び表3に掲げる「目及び皮膚に対する紫外放射傷害」リスクが免除グループであること。ただし、人体に傷害を起こさないようにタイマーや人体検知センサー等により照射が限定される構造である場合は、この限りではない。</u></p> <p><u>b 外かくの見やすい箇所に、通電、停止の状態が容易に判別で</u></p>	<p>別表第八 電気用品安全法施行令(昭和三十七年政令第三百二十四号) 別表第一第六号から第九号まで及び別表第二第七号から第十一号までに掲げる交流用電気機械器具並びに携帯発電機</p> <p>1 共通の事項 (略)</p> <p>2 電気用品安全法施行令(昭和三十七年政令第三百二十四号) 別表第一第六号から第九号まで及び別表第二第七号から第十一号までに掲げる交流用電気機械器</p> <p>(1) ~ (20) (略)</p> <p>(21) 電気消毒器</p> <p>イ 構造</p> <p>殺菌灯を有するものにあつては、通常の使用状態において、<u>光線が直接外部に漏れない構造であること。</u></p>

<p><u>きる表示をすること。また、器体に見やすく、容易に消えない方法で、かつ、理解しやすい用語により、JIS C 7605「殺菌ランプ」の「9.1 製品の表示」に定める図記号及び次に掲げる事項を表示すること。</u></p> <p><u>(a) 眼の痛み又は視力障害の原因となるため、点灯中のランプや反射光を直接肉眼で見ない旨</u></p> <p><u>(b) 皮膚の炎症又は日焼けをおこす原因となるため、点灯中のランプからの紫外放射（殺菌線）を皮膚に直接又は間接に当てない旨</u></p> <p>ロ～ホ （略）</p> <p>(22) ～ (108) （略）</p> <p>3 （略）</p> <p>附表第一～附表第十 （略）</p>	<p>ロ～ホ （略）</p> <p>(22) ～ (108) （略）</p> <p>3 （略）</p> <p>附表第一～附表第十 （略）</p>
--	--